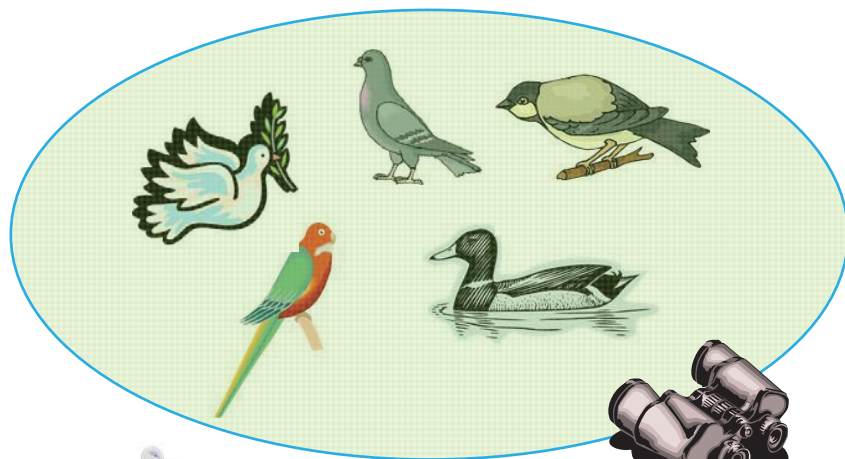


「テキスト」



市民環境調査「冬鳥の観察」



平成24年2月9日(木) 9:00~
伊佐沼周辺にて 天候:



目次

- はじめに 1 頁
- 基礎知識 2 頁
- 観察記録 (伊佐沼周辺) 5 頁
- 自由欄 9 頁

☆ はじめに ☆

1 目的

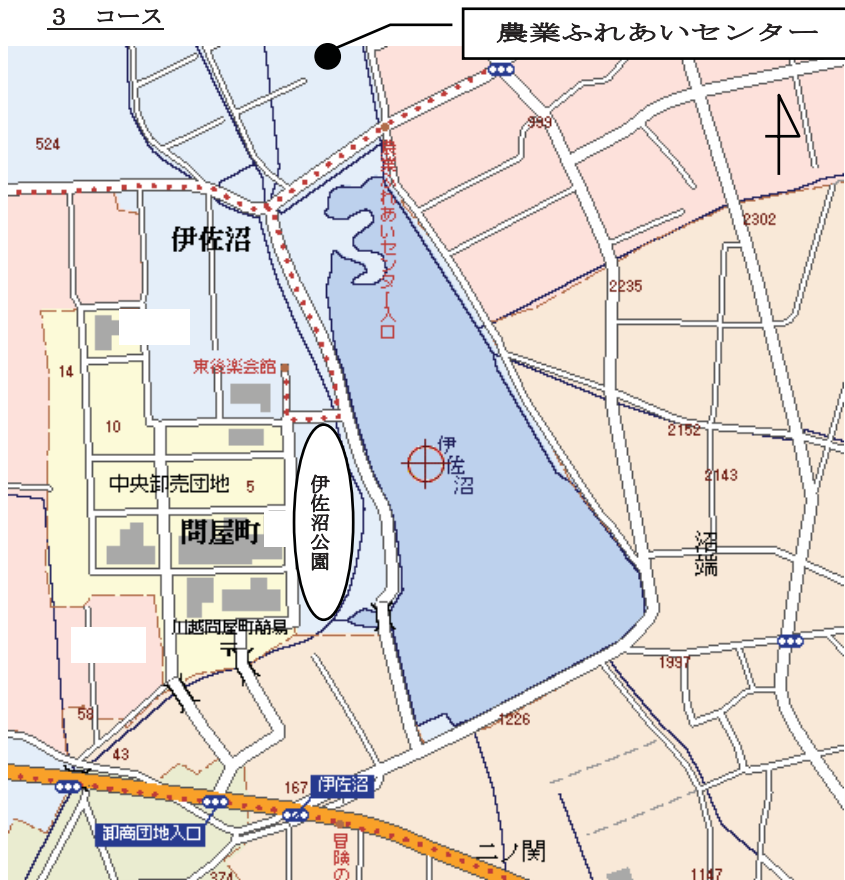
過去現在において、野鳥の生息状況がどのように変化したのかをバードウォッチングを通して調査し、自分の身のまわりの環境について考える。

2 調査方法

5ページ以降に掲載されている鳥の写真を参考にし、その中に見ることができた鳥がいた場合、名前の隣のチェック欄に○を付けて下さい。

また、見ることができた鳥の大まかな位置を、下記にある地図に記入して下さい。

3 コース



☆ 基礎知識 ☆

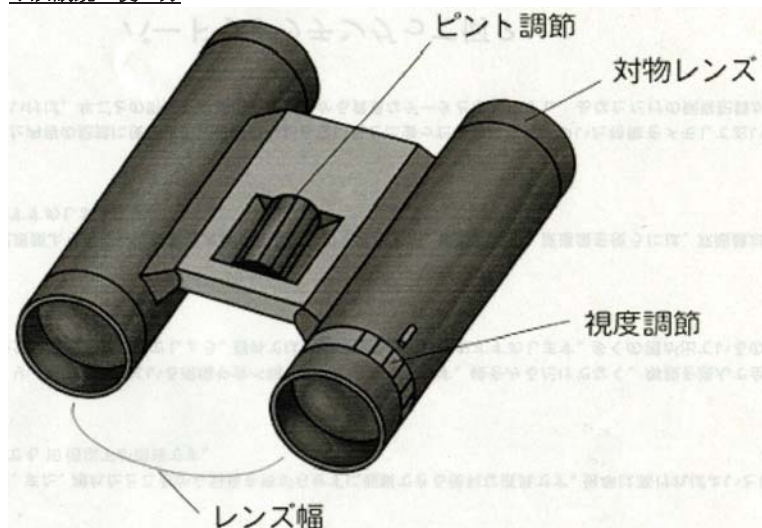
◆春夏秋冬のバードウォッチング

- ①春：冬鳥や旅鳥が北に移動し、夏鳥が南の国からやってくる北上の季節です。
緑が芽吹き、虫達が活発に動き出す頃、その虫の餌に、多くの鳥達が子育てシーズンに入ります。オスがさえぎり、ペアができて、子育てが始まります。
- ②夏：子育てが終わる初夏まで、夫婦の縄張りを宣言するためにオスは歌い続けます。やがて、連れ立った親子が見られるようになります。8～9月頃は、羽が抜け変わる時期で、多くの鳥が活動的ではありませんが、国内の干潟では旅鳥のシギやチドリの仲間が南下して来て、賑わいます。
- ③秋：南下の季節で、夏鳥や旅鳥が南へ移動し、冬鳥が北から飛来し始めます。
- ④冬：寒さや食物の不足などで、生き残りをかけた試練の季節とも言えます。
市街地で野鳥の種類や数が多くなり、木の葉が落ちて姿を見つけやすい季節でもあります。

◆バードウォッチングの道具

- ①双眼鏡：野鳥を近くに感じることができ、また離れた所から野鳥を怖がらせずに観察できる便利な道具です。倍率は高めれば良いというのではなく、初心者なら7～8倍、ベテランでも10倍以下が適当です。
- ②図鑑：観察した野鳥の名前を確かめたり、鳥の暮らしている環境や食べ物を知ることができます。絵を見るだけでなく、解説を読んで全体として大切なこと、「種ごとのすみかや習性」を知っておくとよいでしょう。野外では携帯できるサイズをおすすめします。多くの種が出ているのが良いとは限りません。
- ③望遠鏡：倍率は約20倍位が普通です。双眼鏡よりも更に対象を大きく見ることができますが、視野が狭く、望遠鏡を使うには双眼鏡以上に慣れが必要です。初心者にはまず双眼鏡をおすすめします。
- ④フィールドノート：見つけた野鳥の名前や、観察した内容の記録に使います。名前のわからない鳥と出会った時に、気が付いた特徴をメモしておいて、後で調べるのにも役立ちます。記録を続けていけば、年ごとの野鳥や自然の変化がわかる貴重なデータとなりますし、あなただけの観察記録ができあがります。

◆双眼鏡の使い方

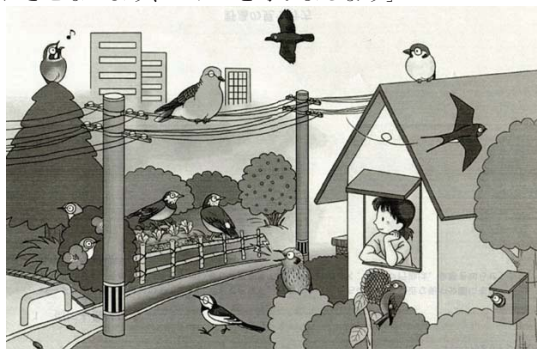


①双眼鏡を自分用にあわせる

双眼鏡をのぞいて、「自分の目の左右の幅とレンズの幅を合わせます」「双眼鏡をのぞいた視野がひとつの○(丸)になるように調整します」「左右の目の視力が違う人は、視度調整をします」「首にかけるひもは短めに、胸のあたりにくるようにします」

②双眼鏡を使う時に気を付けること

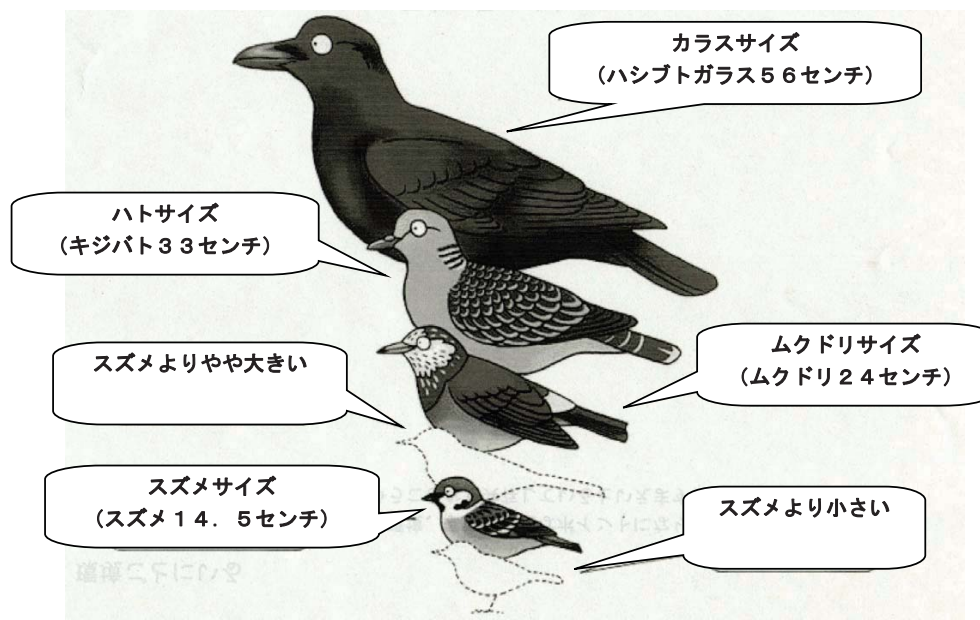
「太陽を見てはいけません。レンズで集まった光を受けて、目を傷める可能性があります」「レンズはホコリや湿気が嫌い。指でレンズに触れるのもいけません。ホコリや水滴、指で触って指紋がついてしまった時などの手入れは、やわらかい専用の布を使いましょう」「人間観察をしてはいけません。周囲の人を嫌な気持ちにさせないように、マナーを守りましょう」



◆ものさし鳥を覚えよう

見分けられるようになるためには、「ものさし鳥」を覚えるのも一つの方法です。「ものさし鳥」とは、身近で出会いやすい鳥の代表「スズメ」「ムクドリ(ムクドリが身近でない地域ではヒヨドリ)」、「ハト」、「カラス」の4種類です。「ものさし鳥」をよく観察することで、出会った鳥の大きさをイメージできるようにするとよいでしょう。例えば、メジロと出会った時に「スズメより少し小さい」、ツグミと出会った時に「ムクドリと同じくらいの大きさ」などと表現します。

※全長とは、くちばしの先から尾羽の先までの長さです。通常は鳥を寝かせた状態ではかりますが、個体差もあるので、数字はおおよその目安と考えてください。



※文書及び写真等は、(財)日本野鳥の会HP・野鳥かみしばい及び(株)日本文芸社発行「野鳥ウォッチングガイド」から抜粋したものです。

☆ 観察記録 (伊佐沼周辺) ☆

1 カイツブリ



2 コサギ



3 カワウ



4 アオサギ



5 ゴイサギ



6 マガモ



7 ダイサギ



8 カルガモ



9 コガモ



10 コチドリ



11 ヒドリガモ



12 カワセミ



13 オナガガモ



14 ユリカモメ



15 ホシハジロ



16 キジバト



17 ハクセキレイ



18 ジョウビタキ



25 メジロ



26 スズメ



19 セグロセキレイ



20 ツグミ



27 ホオジロ



28 ムクドリ



21 ヒヨドリ



22 ウグイス



29 アオジ



30 ハシボソガラス



23 モズ



24 シジュウカラ



31 カワラヒワ



32 ハシボトガラス



☆ 自由欄 ☆

※その他に見られた鳥等を記入して下さい。

氏名	
----	--